

# 学校は、楽しくないといけないのか？

新学期が始まって2ヶ月。

この時期に限らず、保健室ではこんな言葉を耳にすることが何度もあります。

**「学校つまらない。楽しくない。だからやめたい。(だからやめる。)」**

そしてこの言葉に対するわたしの言葉はいつもこうです。

**「楽しくないとだめ？」**



私にとって学校は楽しいところではありませんでした。

学校というのはみんなが行くところだと思っていたので、毎日遅刻もなく通っていましたが、修学旅行も文化祭も体育祭も遠足も「参加した」記憶はあっても「楽しかった」記憶はなく、わたしにとって学校は、向こう岸(大人の世界)に渡るために通らなくてはいけない「橋」のようなものでした。



ではわたしの学校生活が暗く、「かわいそうな時間」だったかといえばそうではなく、思春期なりの悩みもあったし、人見知りでコミュニケーションのとり方がわからなかったために、友人関係には人一倍苦労してきましたが、そんなわたしでも仲良くしてくれる友だちはいたし、学校行事もみんなと一緒に参加してそれなりに達成感も味わいました。そして何よりも、学校に通い続けたおかげで今こうして、なりたと思っていた養護教諭(保健室の先生)になることができました。

もちろん、学校が楽しかった！最高だった！！卒業したくない！！と言う友だちを見てうらやましいと思うこともありましたが、楽しくない中でも学校に通って卒業したことは自信になっているし、その中で学んだことや、今の仕事をしていて役に立っていることもたくさんあるような気がします。



**楽しいから行く　楽しいからやる　楽しいからがんばる**

こう思えば一番いいのですが、残念ながら社会に出たら、楽しいかどうかだけが基準では乗り越えられないことがたくさんあります。

**楽しくなくても仕事に行く　楽しくないけど働く　楽しくないけど、やらないわけにはいかない**  
ことが多いからです。

もちろん働けばお金がもらえます。「仕事はお金がもらえるから楽しくなくてもいい」と生徒からもよく聞きますが、そのお金も、自分が満足できるほどもらえるとは限りません。

そんなときに、楽しくなくてもがんばれる力、または楽しく思えない世界に、楽しみややりがいを見つける力というのが大切になってくるのです。

それは、長い橋を渡るときに「いやだ！」「疲れる！」「怖い！」「つまらない！」「なんでこんな橋をわたらなくちゃいけないんだ！」と思いながら下を向いて歩くよりも、「景色がきれいだなあ」「鳥の音が聞こえるなあ」「今涼しい風が吹いてきて気持ちよかったなあ」「自分がわたろうとしている橋の向こうには、何かあるのかなあ」などと思いな

がら歩くほうが、同じ橋を渡るにしても、歩くのが少し楽に感じるのと同じことです。

学校が楽しいと思えるならそれが一番です。

でも楽しくなければいけないのか・・・と聞かれれば、そうではないと答えます。

ましてや、楽しくない子はダメな子だとは思いません。

勉強はつまらない。でも休み時間に友だちと話すのは楽しい。

友だちといつもつまらない。でも、あの授業を受けるのは楽しい。

友だちはいない。でも先生と話をするのは楽しい。

クラスはつまらない。でも他のクラスに友だちがいる。

クラスはつまらない。でも部活は楽しい。

学校はつまらない。でも勉強をがんばったらほめられてうれしかった。

学校はつまらない。でも帰りに寄り道するのは楽しい。

学校はつまらない。でも話を聞いて励ましてくれる人がある。

学校はつまらない。でも夢をかなえるためには卒業することが必要だ。



もし自分では見つけれないときには保健室と一緒に、小さな楽しみや目標を探してみませんか？

話をしてみるだけで、気持ちが楽になるかもしれないし、楽しくない楽しくないといいながらがんばっているうちに、何かのきっかけで、学校が楽しくて仕方がない！！と言うようになった生徒、卒業までがんばってよかった!!と言う生徒をたくさん知っているからです。

ただひとつ大切なことがあります。

それは必ずしも「学校は楽しいところ」でなくてもいいけれど「つらいところ」であってはいけないということです。わたしの場合も、学校は楽しくはなかったけれど、安全な場所ではありました。

いじめられたり、仲間はずれにされたりすることはなかったからです。



だからもしあなたにとって学校が「楽しくない」だけではなく「つらいところ」だとしたら、それは一人で悩んだり苦しんだりまんしたりする必要はありません。保護者や先生、保健室に相談してください。



何がつらいのか、何に困っているのか伝えましょう。

そしてどうしたらよいかを一緒に考えてみましょう。

困ったときに助けを求められる力というの、自分を守るために、とても大切なことだからです。

橘高校の生徒であるあなたが、安心して生活できるように、そしてあなたが橘高校を卒業できるように、いつも保健室から応援しています。